SDGS・ESD公開フォーラム
みんなでつながる地域拠点を創ろう
（南房総を中心に千葉県南域）

SDGs・ESDをひろげるための“ちば”拠点づくり事業

（特非）環境パートナーシップちば
（桑波田和子）

この事業は、地球環境基金の助成を受け実施しています

特定非営利活動法人　環境パートナーシップちばの紹介

・1997年6月29日　任意団体「環境パートナーシップちば」設立

設立趣旨：市民主導型の環境ネットワークを気付き、
市民・行政・企業とのパートナーシップを目指します。

・2018年1月25日
特定非営利活動法人　環境パートナーシップちば設立

設立趣旨：環境活動の推進と充実を図るため、
市民・団体・企業・行政・学校とのパートナーシップのもと
「持続可能な開発に向けた目標(SDGs ）」や
「持続可能な開発のための教育(ESD)の視点を意識して、
さらなる持続可能な社会の実現を目指します。

特定非営利活動法人　環境パートナーシップちば活動方針

環境保全活動・環境学習をパートナーシップで推進する活動をしています

1. 持続可能な社会を目指すための多様な主体との
   ネットワークの構築
2. 持続可能な社会を推進するための人材育成
3. 環境活動の推進と充実を図るための情報の発信

エコメッセちば実行委員会
事務局活動

印旛沼をきれいにする活動

環境学習支援活動ほか

地域ESD活動推進拠点（地域ESD拠点）2018年11月登録

2018年度～2020年度の事業
（SDGsを達成するためのESD担い手育成事業）

課題・環境問題を解決していくためには、SDGsを達成のためのESDの視点を持った学習及び活動プログラムと地域でのリーダー不足。
・ 地域リーダーが活躍する多様なつながりを持った場も必要。

↓

解決へ向けて（事業内容）
・SDGs達成のためにESD地域リーダーの育成
・多様な主体とのネットワークで、SDGsを進める実働するプラットホームをつくる。地域リーダーが活躍するための協働事業など提案する。

事業内容

①ESD地域リーダー育成事業 ⇒ ESDの視点を入れた環境学習プログラム作りを通してESD地域リーダー育成

②SDGsを進めるプラットホームづくり⇒実働するプラットホームづくりを目指す。

③情報の収集と発信・・・ニュースレター発行

HP　報「だより」他

※公開セミナー開催：SDGs・ESDの理解促進

2018年度～2020年度の事業を通して期待する効果

- 県内に44人育成された地域コアリーダーが、地域で活動を継続し広げていく。
- 地域コアリーダーが今後活動を継続して行くためには、多様な主体で構成されるプラットホームが必要であることを、共有した。

➡ プラットホーム機能の一つとして、

実験プロジェクト（・ユースとの連携　・地域の自然からの学び

・学校との連携　・モデルプログラムの活用）

を立ち上げ、今後　実施へと向かう。

・2021.3.14　第2回公開セミナー内容企画

2021年度以降

事業の実施と継続のため、地域コアリーダーのスキルアップを図りながら、多様な主体と連携、協働し、事業を展開する。

⇒ **千葉県内に地域拠点づくり（県南・県北・中央）を3年間で実施**

⇒ SDGs/ESDプラットホームちば⇒SDGs・ESD達成へ！

2021年度事業内容

SDGs・ESDをひろげるための“ちば”拠点づくり
～1年目　主な活動拠点：千葉県南部地域～

①「ひろげる場」づくり

・拠点会議（3回/年）開催

第1回：8月4日（水）13：30～　とみうら元気倶楽部

第2回：11月　第3回：3月

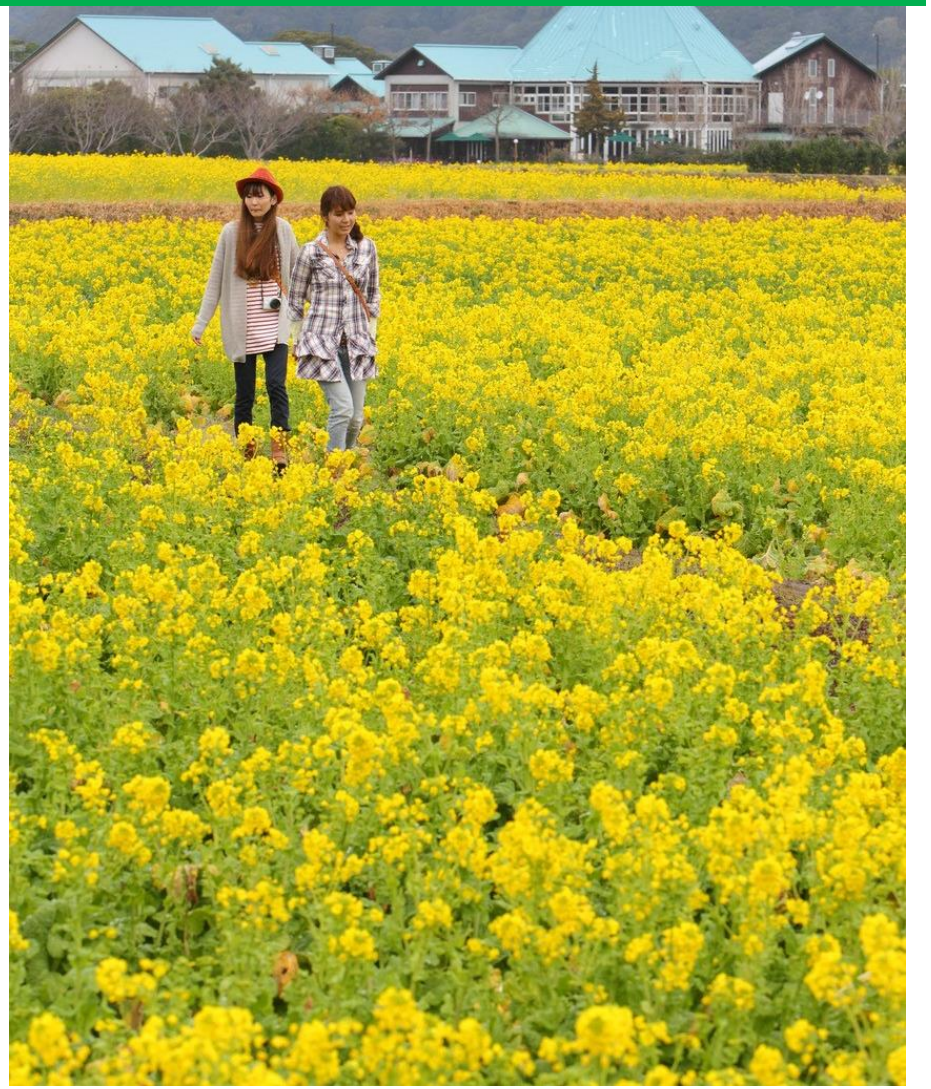
②「ひろげる人」づくり

・SDGsちばユース活動発表会開催。

・学校との連携事業開催。

・ESDの視点を入れた環境学習プログラムの活用。

・ESDプログラム体験会実施。

③SDGs・ESD広報活動（セミナー、フォーラム、ニュースレター、HP作成、他）

拠点づくり会議　是非ご参加を！